

13 飛び安里の生家跡

飛び安里については、18世紀前半に弓の弾力を利用して羽を足の力で上下させる飛行機を発



明し、泡瀬の海に面した断崖から飛び、成功したという記事が1933（昭和8）年の『大阪朝日新聞』に掲載されています。また、本市古謝にある津嘉山森から、泡瀬の海にむかって飛んだという伝承もあり、ライト兄弟より100年以上も前に大空を飛んだことになります。

さらに、火薬の調合についても研究したため、花火師安里とも呼ばれたといわれています。

14 越来グスク跡

越来グスクは、現在の越来保育所のある石灰岩丘陵上(標高80m前後)に立地していました。古



くによると、かつては現在よりも高い山だったといわれており、頂上からは東西の海が見えたといわれています。地元ではギイクグシクとよんでいます。

第一尚氏第六代目の王である尚泰久や、第二尚氏第二代目の王、尚宣威が、それぞれ即位以前に居城していたことで知られています。また、阿麻和利を討伐した鬼大城も、その功績により居城していたと伝えられています。

これまでの発掘調査により、14c～15c後半を中心とする多量の貿易陶磁器や刀の鏑、切羽、鉄釘などの金属製品などが出土しました。

また、掘立柱建物跡と考えられる柱の穴が発見されていますが、グスク全体を知る手がかりとなる外壁の石積みはまだ確認されていません。



越来

全部まわれたかな？



memo

沖縄市教育委員会
沖縄市立郷土博物館
沖縄県沖縄市上地2-19-6 3F
TEL：098-932-6882

このマップは、対米請求地域振興助成金により作成しました。

越来文化財マップ

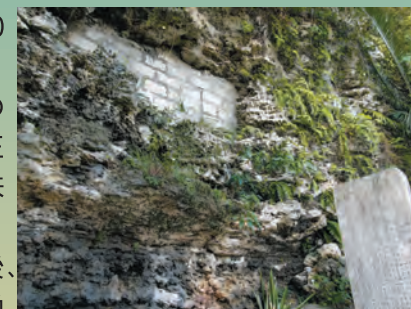
歩いて楽しむ



沖縄市教育委員会

11 尚宣威王の墓

尚宣威（1430～1477年）は、第二尚氏尚円王の弟です。尚円が王位につくと、越来間切の領主となります。尚円の死後、世継ぎであった尚真が幼かったことから第二尚氏二代目の王位につきましたが、わずか半年で退位し、尚真に王位をゆずっています。その後、越来の地に戻り、1477年8月に没しました。



12 越来の白椿

第一尚氏六代目の王である尚泰久（1415～1460年）は、越来王子として越来グスクに住ん



でいました。尚泰久と村の娘、世利久との間に子どもが生まれたので、母子のため当地に家建てて住ませ、誕生の記念に白椿とミカンの木を植えたといわれています。長い年月の間に両方とも枯れてしまいましたが、白椿は挿し木で別の場所に殖やしてあったものを当地に戻しました。現在でも、2月頃には白い花を咲かせています。

越来文化財一覧

- 1 越来ウマイー跡
- 2 富原ガー
- 3 綱引きの場所
- 4 ワクガー
- 5 殿内跡
- 6 西森公園の拝所
- 7 ヒジュールガー
- 8 イシガー（ターチューガー）
- 9 ヌンドゥンチ結びのカー
- 10 ヌンドゥンチャー
- 11 尚宣威王の墓
- 12 越来の白椿
- 13 飛び安里の生家跡
- 14 越来グスク
- 15 那志原遺跡



① 越来ウマイ跡



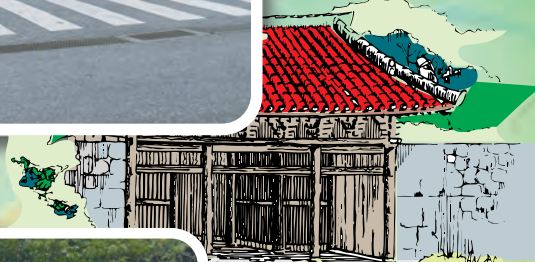
② トウバル 富原ガー



③ 綱引きの場所



歩いて
楽しむ



⑤ なしばら いせき 那志原遺跡

越来

美来工科高校

嘉間良

越来公民館

越来小学校

越来中学校

城前公民館

城前町

越来 文化財 マップ



④ ワクガー



⑧ イシガー(ターチューガー)



⑤ とんち あと 殿内跡



⑨ マンドウチ結びのカー



⑥ にしむい 西森公園 の拝所



⑩ マンドウチヤー



⑦ ヒジュルガー

329

330